アドバンスラボ　歯科技工所ベースアップ支援料機能について

アドバンスラボでの歯科技工所ベースアップ支援料の入力支援機能、支援料請求書、集計機能につきましてのご説明となります。機能を利用する場合は以下の設定を行ってください。

今までの納品技工物の請求書はアドバンスラボでは納品額を月締めで集計して消費税率を掛ける外税方式での請求書発行となっております。今回の歯科技工所ベースアップ支援料の機能追加で歯科医院様への歯科技工所ベースアップ支援料請求は保険点数の金額を正確に請求するため内税方式で別途請求書を発行する設計といたしました。

操作の流れは大まかに既に入力済の基本料金のデータで追加された入力支援のための項目の「BU支援料数量入力方法」を登録して、医院管理にてベースアップ支援料の請求が必要な歯科医院で追加項目の「BU支援料」にチェックを入れるだけで初期設定作業は完了です。

あとは受注入力で該当の歯科医院を選択して納品物を入力していく際に基本料金で「BU支援料数量入力方法」を登録した技工製品を入力した際に画面に「ベースアップ支援料を入力してください」というメッセージボタンが表示されますので、受注入力での納品物の入力の一番最後にそのメッセージをクリックするとベースアップ支援料の項目と数量が自動入力されます。

請求時には通常の納品物の請求書データ作成時にベースアップ支援料の請求書も自動作成されますので、2種の請求書を印刷するだけの作業の流れとなります。　ベースアップ支援料の請求書は一括印刷されませんので、個別に内容を確認して印刷してください。

尚、ベースアップ支援料の入力支援機能、支援料請求書の発行機能をご利用の際は運用開始前に歯科医院様と請求方法（納品技工物の外税方式での請求書とは別に内税方式での支援料請求書発行）の確認と了解、支援料の数量の算定方法など十分に協議の上、設定いただきますようお願い申し上げます。

また以下の入力支援機能/請求機能を使用せず（BU支援料にチェックを入れない）に、料金表に数字3桁のNoで「ベースアップ支援料」を登録して通常の技工製品と同様に入力、1つの請求書（外税方式）のみで歯科医院様へ支援料のご請求も可能ですが、保険点数の金額を正しく請求出来ない可能性がございます。

操作方法に関しましては弊社にてサポート可能ですが、どの技工物がどのような数量で請求が必要かなどは弊社では分かりかねますので予めご了承いただければ幸いです。

目次

【注意】ver3.5b9f6より入金の入力方法が変更となっております。

1，歯科技工所ベースアップ支援料　初期設定方法

2，歯科技工所ベースアップ支援料　受注入力での使用方法

3，歯科技工所ベースアップ支援料　請求書の作成方法/入金入力

4，歯科技工所ベースアップ支援料　集計方法/未入力検索

1，歯科技工所ベースアップ支援料　初期設定方法

アドバンスラボを起動して、メニュー画面→技工料金→基本料金設定タブをクリックして画面右の「ベースアップ支援料設定へ」ボタンを押します。登録している基本料金のリストが表示されますのでBU支援料の「数量入力方法」の項目を設定します。この項目を入力するとベースアップ支援料の数量自動入力の対象となります。選択項目は以下の内容の中から選択します。**基本料金や医院別料金の料金表に「ベースアップ支援料」自体の登録は不要です。**

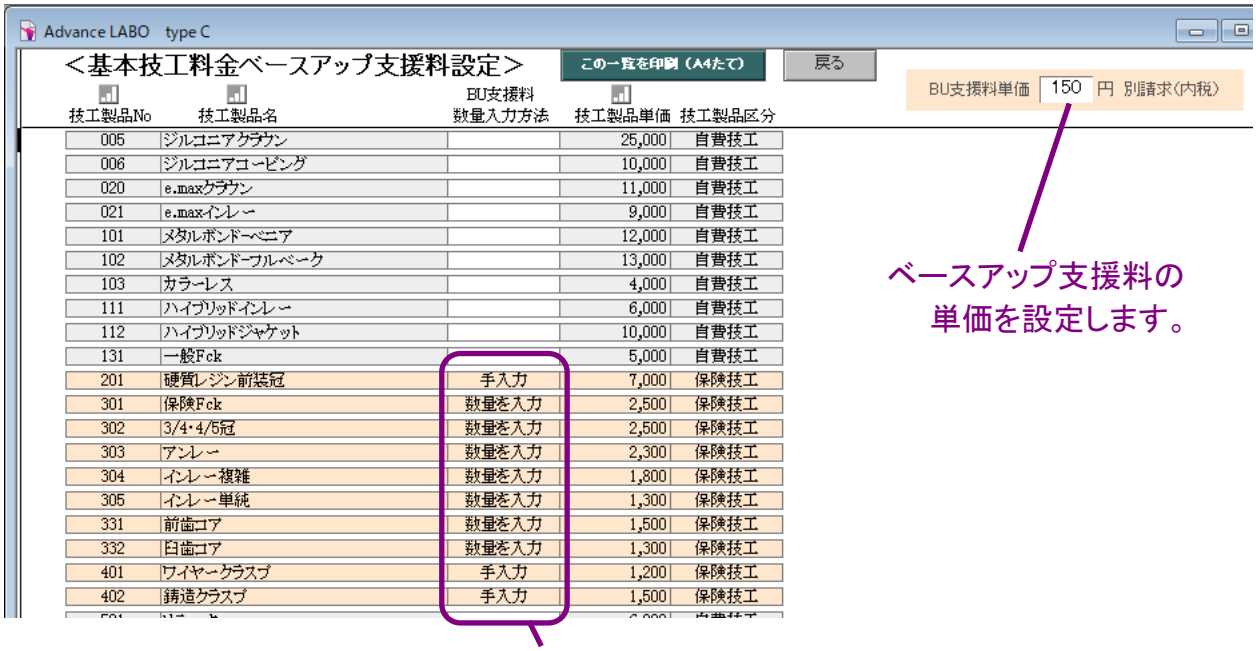
- 数量を入力
- 1を入力　～　5を入力
- 手入力

「数量を入力」を選択した技工製品を受注入力で入力した場合にベースアップ支援料の入力の際にその技工製品の入力した数量がベースアップ支援料の数量として自動入力されます。「1～5を入力」の場合は技工製品の数量にかかわらず基本料金で登録した1～5の数量がベースアップ支援料の数量として自動入力されます。「手入力」を選択した技工製品を入力した場合はベースアップ支援料の数量は入力されず空欄となりますので入力内容を確認して手入力で数量を入力してください。

上記の1つの受注入力のデータ内で複数のベースアップ支援料算定予定の技工製品を入力した場合は、その合計値が自動入力されます。また複数の技工製品の中で1つでも「手入力」の技工製品がある場合はベースアップ支援料の数量枠は空欄となります。

基本料金で「数量入力方法」の入力を間違えて入力してしまい、消去したい場合は再度クリックして、選択項目のリストの最上段の空欄を選択すると消去できます。

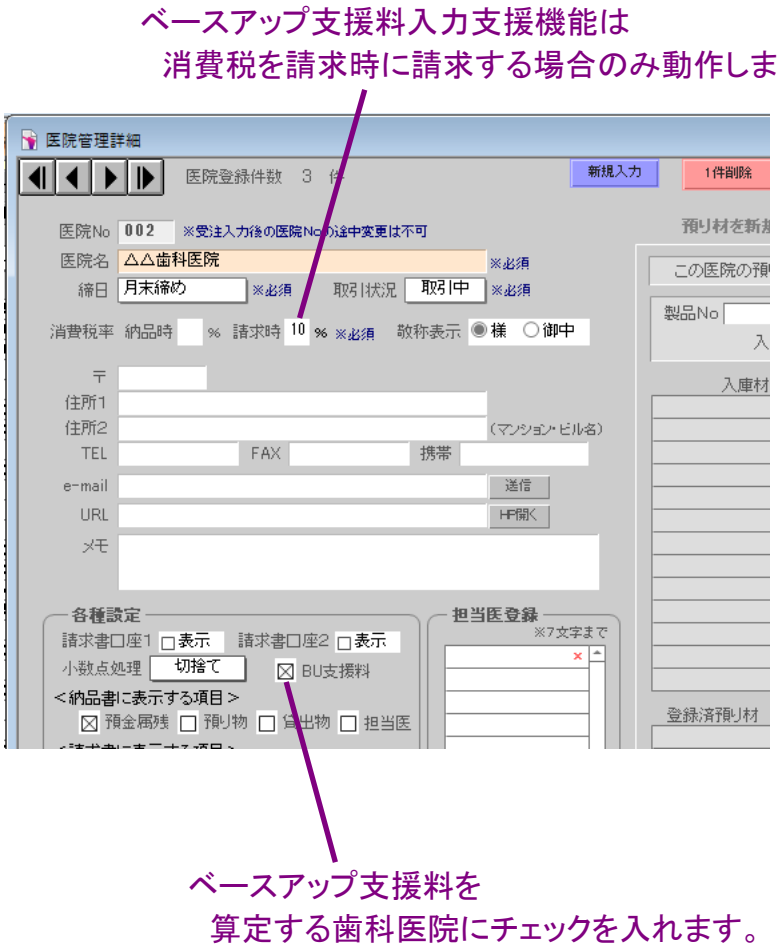
「数量入力方法」の設定が終わりましたら、画面右上の「BU支援料単価」を入力してください。2026年5月時点では保険点数15点の税込単価は150円となっております。単価は登録した後に受注入力でベースアップ支援料を入力すると登録した単価が転記されます。単価が変更となる場合は変更後の単価での入力が必要な時点で基本料金の単価を変更してください。尚、受注入力で転記された単価は入力後に変更可能です。変更が必要な場合は手動で変更してください。



技工製品No	技工製品名	BU支援料 数量入力方法	技工製品単価	技工製品区分
005	ジルコニアクラウン		25,000	自費技工
006	ジルコニアコーピング		10,000	自費技工
020	e.maxクラウン		11,000	自費技工
021	e.maxインレー		9,000	自費技工
101	メタルボンドーベニア		12,000	自費技工
102	メタルボンドーフルベーク		13,000	自費技工
103	カラーレス		4,000	自費技工
111	ハイブリッドインレー		6,000	自費技工
112	ハイブリッドジャケット		10,000	自費技工
131	一般Fck		5,000	自費技工
201	硬質レジン前装冠	手入力	7,000	保険技工
301	保険Fck	数量を入力	2,500	保険技工
302	3/4・4/5冠	数量を入力	2,500	保険技工
303	アンレー	数量を入力	2,300	保険技工
304	インレー複雑	数量を入力	1,800	保険技工
305	インレー単純	数量を入力	1,300	保険技工
331	前歯コア	数量を入力	1,500	保険技工
332	臼歯コア	数量を入力	1,300	保険技工
401	ワイヤークラスプ	手入力	1,200	保険技工
402	鋳造クラスプ	手入力	1,500	保険技工

基本料金の設定が終わりましたら、医院管理の医院詳細画面でベースアップ支援料の算定が必要な歯科医院を開いて「BU支援料」にチェックを入れてください。

チェックを入れた後に受注入力で新規入力ボタンを押して歯科医院を入力すると「BU支援料」のチェックが受注入力のデータ側に転記されますので、算定の入力が必要になった時点で医院詳細でチェックを入れてください。尚、医院詳細でチェックを入れて受注入力でチェックが入っても受注入力で個別にチェックを外すことも可能です。



以上で歯科技工所ベースアップ支援料算定、請求書発行のための初期設定は終了です。算定対象の歯科医院や技工製品、受注入力画面での入力内容など分かりやすく区分けしたほうが良いと思われる画面や項目は項目の背景の色が薄オレンジ色で点灯するようになっております。
（全てではなく、点灯しない画面もあります）

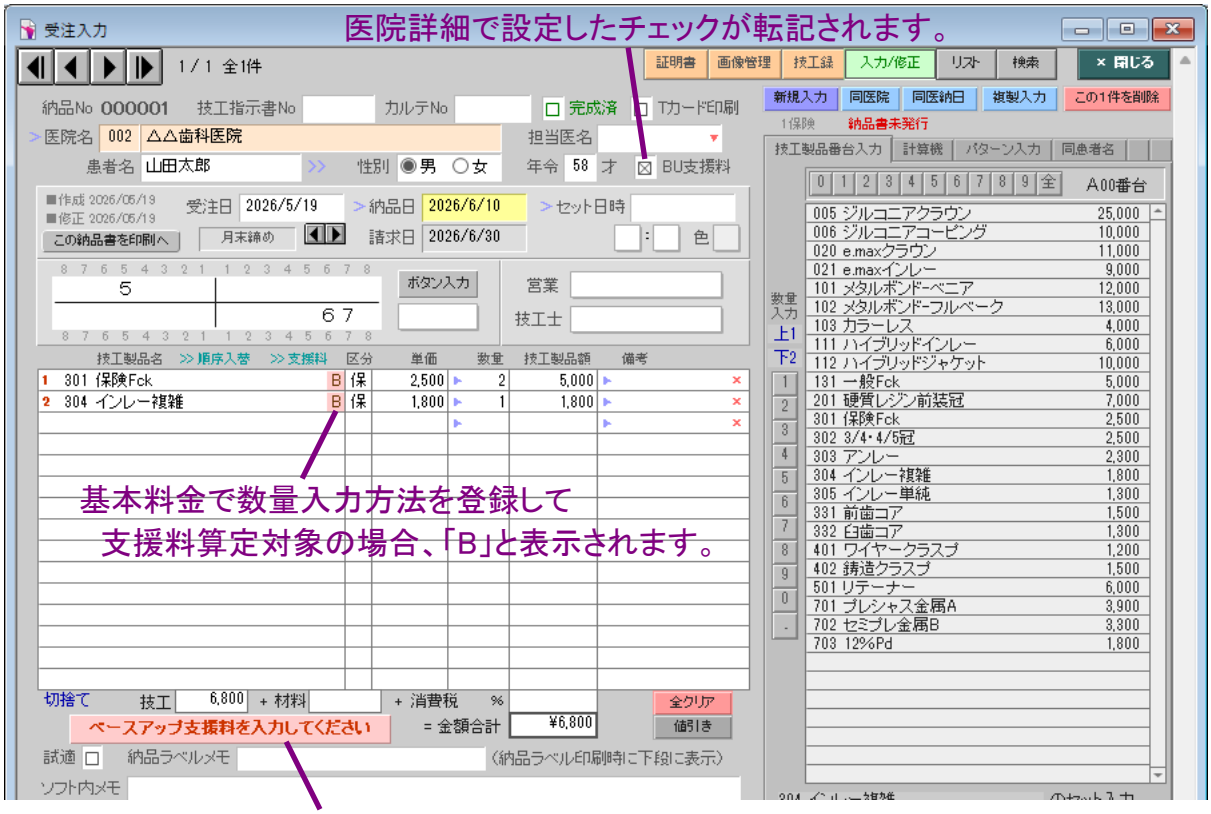
【注意事項】
ベースアップ支援料入力支援機能は消費税を請求時に算定して請求する設定の場合に動作します。納品時に請求の場合は正常に動作しない可能性がありますので、入力支援機能を利用する場合は必ず請求時に設定を変更してからご利用ください。

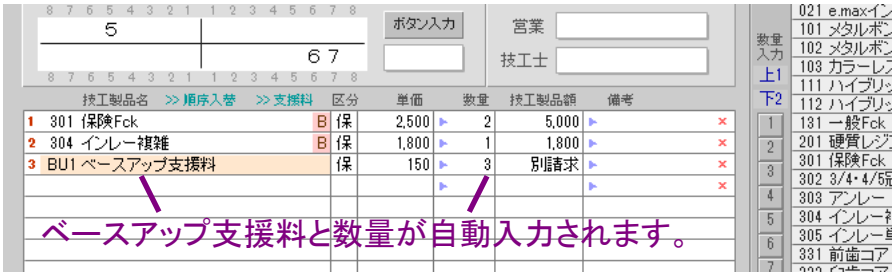
2，歯科技工所ベースアップ支援料　受注入力での使用方法

アドバンスラボの受注入力画面で新規入力ボタンを押して歯科医院を入力後、その他の情報を入力した後に技工製品を入力します。基本料金で「数量入力方法」を選択した項目の場合は技工製品の名称の右に「B」という文字が表示されます。技工製品が全て入力し終わった状態で、基本料金で「数量入力方法」を登録した支援料の対象の技工製品があり、尚且つ医院管理で「BU支援料算定」にチェックを入れた歯科医院の場合、技工製品の入力枠の下に赤文字で「ベースアップ支援料を入力してください」というアラート文字が表示されます。その文字をクリックするとベースアップ支援料が自動入力されます。数量も自動入力されますが、技工製品の中に「手入力」がある場合は数量を手動で入力してください。入力するとアラートは消えます。

自動入力された「ベースアップ支援料」は既存のデータに影響しないように技工製品Noは「BU1」、区分「保」、単価は基本料金で登録した単価、金額は「別請求」と表示されて、納品書と納品技工物の請求書には金額が算定されないようになっています。技工製品Noの「BU1」は算定機能の関連付けに使用しておりますので変更しないようご注意ください。

受注入力で支援料の対象の技工製品を入力して「ベースアップ支援料を入力してください」というアラート文字が表示されても、画面上部の医院詳細から転記された「BU算定」のチェックを外すことで非表示にして入力しないようにすることも可能です。





3，歯科技工所ベースアップ支援料　請求書の作成方法/入金入力

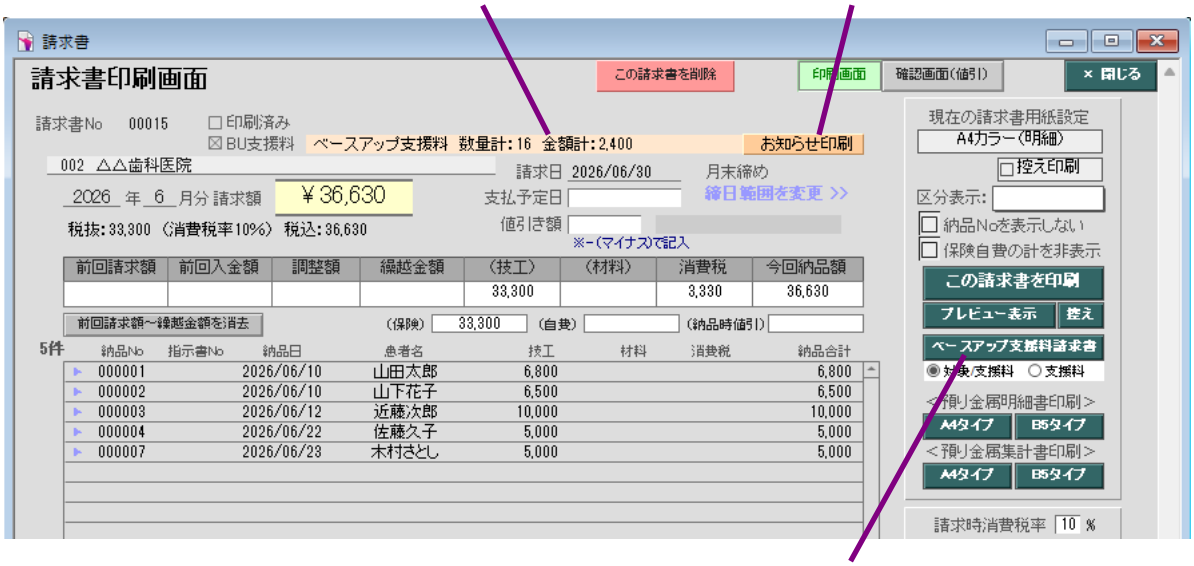
通常の納品技工物の請求書データを作成すると自動でベースアップ支援料の請求書も作成されます。請求書印刷画面の右の「ベースアップ支援料請求書」ボタンを押して印刷してください。印刷時にボタン下で「対象/支援料」を選択するとベースアップ支援料請求対象の技工製品が上段に表示されてベースアップ支援料も表示されます。「支援料」を選択すると技工製品で入力したベースアップ支援料のみ表示されます。納品技工物の請求書で歯式の入った明細には確認のためのベースアップ支援料も金額欄が「別請求」の状態で表示されます。

また請求書印刷画面の上部の「お知らせ印刷」ボタンを押すと、通常の納品技工物の請求書とベースアップ支援料請求書の金額と両者の合計金額が表示された帳票を印刷できます。合計金額をお知らせするために必要な場合は印刷してください。

納品技工物の請求書は外税方式、ベースアップ支援料請求書は内税方式となっております。適格請求書では外税と内税の商品を混在して1つの請求書内では発行出来ないため、このような仕様となっております。

自動作成されて数量計と請求額が表示されます。

合計金額のお知らせを印刷できます。



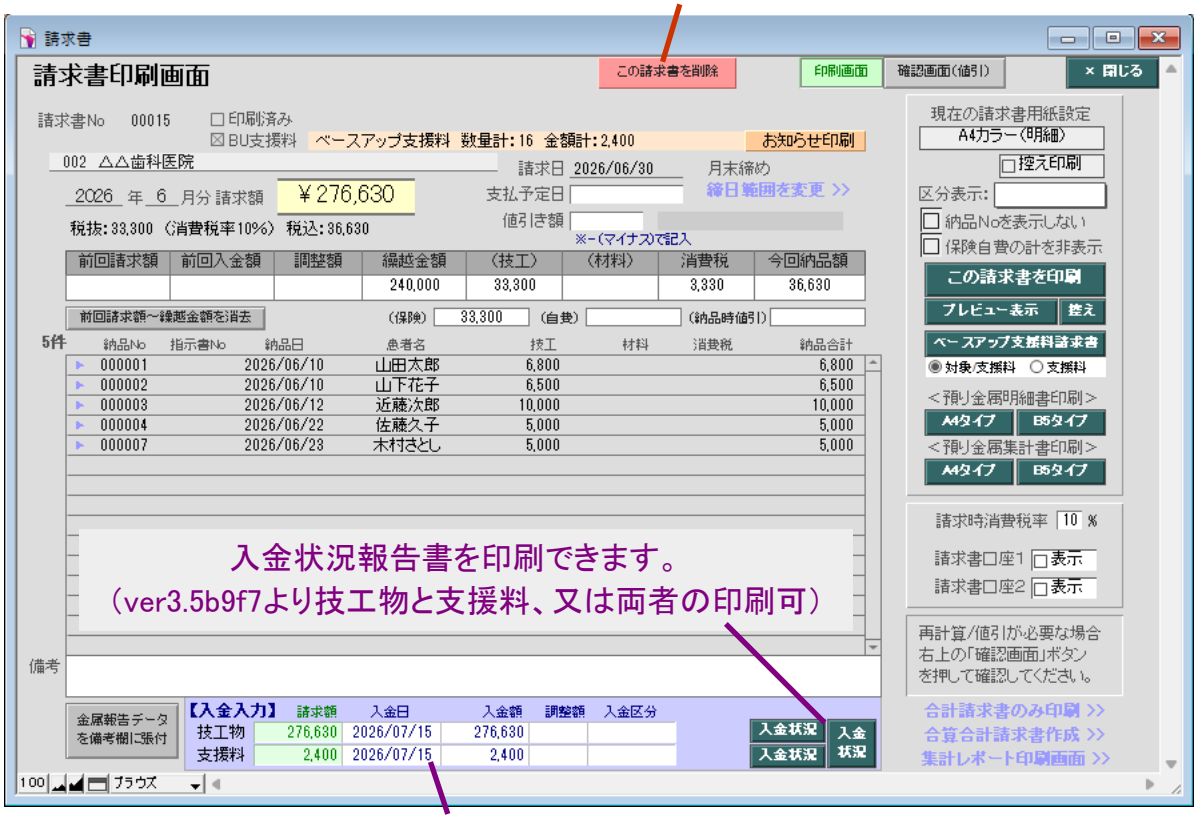
ベースアップ支援料の請求書が印刷できます。



左が請求書に転記された集計値で、
右が現在の受注入力の集計値です。
更新ボタンで更新できます。

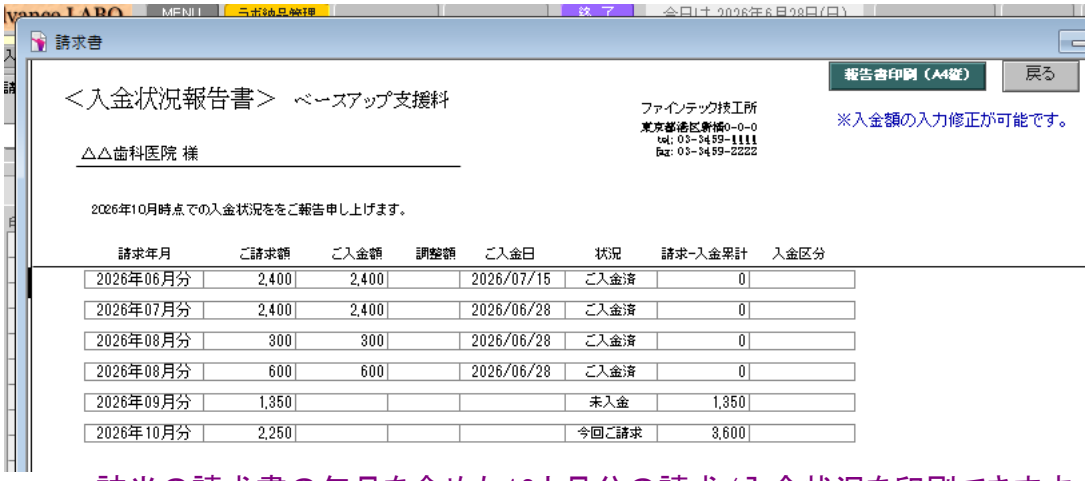
請求に対する入金は以下のようになります。 ver3.5b9f6より仕様変更となっております。

※納品技工物の請求書データを削除した場合、支援料の請求書も同時に削除となります。



入金入力は技工物と支援料の2つの個別入力となります。（ver3.5b9f6より仕様変更）
技工物の請求書の繰越金額は技工物の請求/入金のみの計算値となります。

※技工物と支援料の請求に対する入金が合わせて1回の合計金額の入金の場合、アドバンスラボ上では別々に入金額の入力を行ってください。銀行の振込手数料などを調整額に入力する必要がある場合は、どちらか一方の調整額に入力してください。旧バージョンで支援料の入金を技工物の入金にまとめて入力していた場合は分割して入力し直してください。また支援料は複数月分を一括入金の場合も各々の請求年月の請求に対する入金額を入力してください。



該当の請求書の年月を含めた13カ月分の請求/入金状況を印刷できます。
（入金区分は印刷時には表示されません）

ベースアップ支援料の請求書には前回入金額、繰越金額等は表示されませんが、入金状況報告書を印刷して歯科医院様へ入金状況をお知らせできます。技工物の入金状況報告書も印刷できるようになっております。

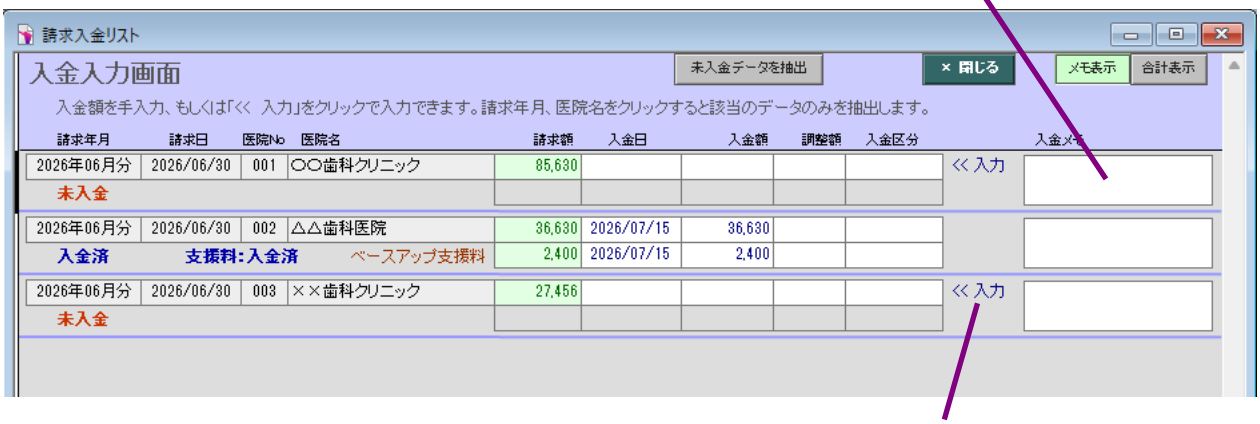
月別請求一覧で右上の「入金入力」ボタンを押すと入金入力画面が開いて、請求に対する入金の入力ができます。 ver3.5b9f6より月別請求一覧の画面上での入金の入力はできません。



入金入力ボタンで以下の
入金入力画面が開きます。
（ver3.5b9f6より仕様変更）

月別請求一覧は技工物と支援料の2つの請求額、入金額が表示されます。
※画面上部の請求額と入金額の合計値は技工物と支援料の合計金額が表示されます。

入金に関するメモを入力できます。



入力の文字をクリックすると入力した日の日付と入金額を入力されます。
調整額をキーボードで手入力した後に入力の文字をクリックすると
請求額から調整額を差し引いた金額を入金額に入力できます。

入金入力画面で表示されている医院名をマウスでクリックすると、選択した医院のみの請求書データを再検索して表示できます。また再度、請求年月をクリックすると選択した年月の請求書データを再検索して表示できます。画面右上の合計表示ボタンを押すとそれぞれの請求額、入金額の合計金額が表示されます。

入金入力で間違って入力の文字をクリックして入力した入金額などを削除したい場合は、マウスで入力した内容を選択してからBackspaceキーで消去してください。

4，歯科技工所ベースアップ支援料　集計方法/未入力検索

集計方法は現在受注入力で入力されているデータを集計したい場合はメニュー画面→「集計その他」の画面で下段右の「左条件の支援料集計リストへ」ボタンで各種条件での集計が印刷できます。支援料請求書と同様に対象/支援料を切り替えて印刷できます。

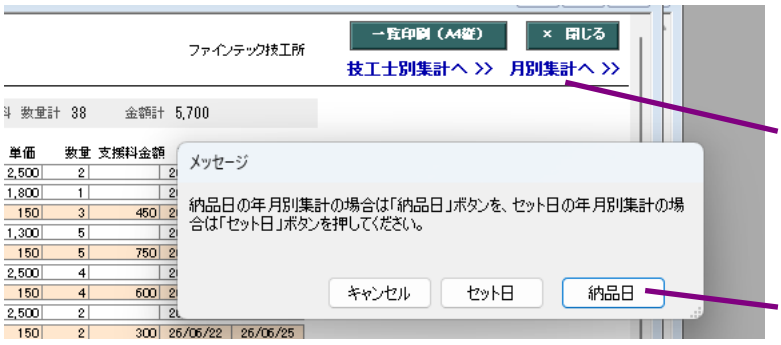


受注入力で入力した担当技工士別でも印刷できます。

ベースアップ支援料の対象の技工物も一緒に表示するタイプ



ベースアップ支援料のみを表示するタイプ



「月別集計へ」を選択して

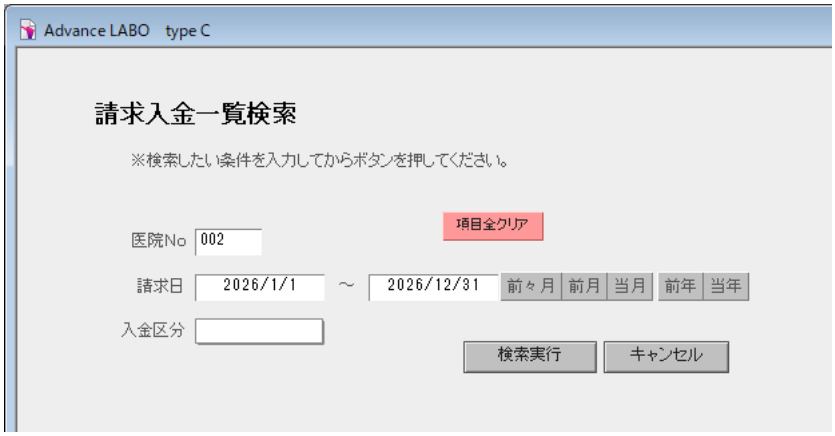
「納品日」を選択すると



納品日基準の月別集計を印刷できます。「セット日」を選択するとセット日基準の月別集計が印刷できますが、受注入力でセット日を全て入力する必要があります。

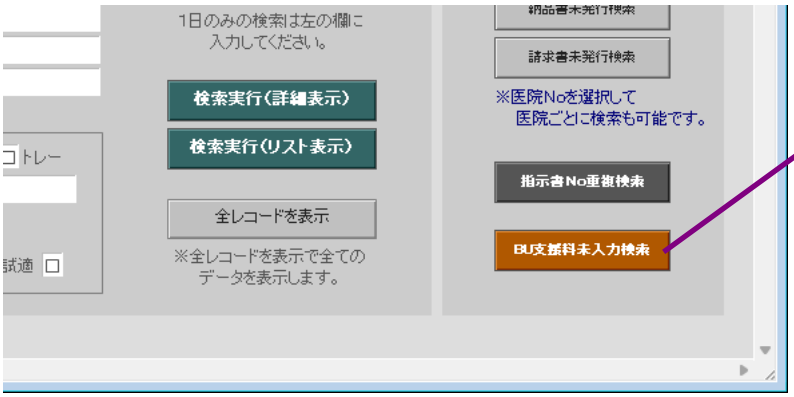
またベースアップ支援料請求書のデータの集計も可能です。メニュー画面→「請求書/入金」→画面右上の「請求書リストへ」でリスト画面を表示した状態で上の「リスト検索」ボタンを押して各種条件で検索して集計表を印刷できます。

ベースアップ支援料請求書での数量計、金額計は共に請求書データ作成時に受注入力のデータを集計して転記したデータとなりますので、請求書データ作成後はその作成した請求書データの範囲の受注入力データを変更、削除しないようご注意ください。



必要な条件を入力して検索実行ボタンを押してください。

受注入力で入力しているデータの検索画面でベースアップ支援料対象の技工製品を入力していて、ベースアップ支援料を未入力のデータを画面右下のボタンで検索できます。



メニュー画面→
「受注入力」→
「受注詳細検索へ」
の画面右下のボタンで
未入力のデータを
検索できます。

数量未入力の検索ではないので、数量が未決定の場合は項目自体を未入力にしてください。